

## 原発事故に立ち向かう

～いかに暮らし・生命を守り、まちを復興するか～

主催：自治体学会関東フォーラムin 川崎・神奈川実行委員会

共催：特定非営利活動法人 自治創造コンソーシアム

特定非営利活動法人 パブリックリソースセンター

後援：川崎市（依頼予定）、財団法人地方自治研究機構、自治体学会

### 【趣旨】

2011年3月11日に発生した地震と津波、その後の福島第一原子力発電所の事故。自然災害と人為災害の両方が、被災地の人々の命と暮らしを奪い、まちを破壊しています。

これまで、そして今、その最前線で自治体が苦悶しつつ、奮闘しています。それは、住民の生命と暮らしをいかにして守るか、いかにしてまちを復興するのかの闘いなのです。

私たちは、今、改めて、被災地の実情を正確に知る必要があるでしょう。

そして、被災地で奮闘する自治体とともに、その復興に向けた政策を構想し、その実行を支援する必要があります。

こうした趣旨で、今回のフォーラムをテーマごとに連続して開催することとしました。このフォーラムを通じて、私たちは、被災地が復興にこぎつけるまでの長い道のりを共に歩いていく覚悟を持ちたいと思います。

今回は、「自治体学会関東フォーラム」の位置づけで、これまで「までい」の心で独自の村づくりに取り組み「日本で最も美しい村」となったにも関わらず、「計画的避難区域」に指定され、涙をのんで村を去らなければならなくなった福島県飯舘村の菅野典雄村長をメインスピーカーに迎え、原発事故にいかに立ち向かうか、その政策のあり方を含めて検証し、議論したいと思います。

### 【日時】

2011年7月31日（日）午後1時30分～4時40分

※当日、午前11時から「神奈川自治体学会」（仮称）設立総会を予定しています。

### 【会場】

川崎市産業振興会館ホール 〒212-0013 川崎市幸区堀川町66番地20

JR東海道線、JR京浜東北線、JR南武線のJR川崎駅から徒歩8分。

京浜急行本線、京浜急行大師線の京浜急行川崎駅から徒歩7分。

[http://www.kawasaki-net.ne.jp/kaikan/hall\\_guide.html#map](http://www.kawasaki-net.ne.jp/kaikan/hall_guide.html#map)

### 【参加費】※当日申し受けます。

一般 2000円 学生（院生を含む） 1000円

※午前中の「神奈川自治体学会」（仮称）設立総会は無料です。

### 【定員】

約200名（先着順、定員になり次第締め切ります）

【プログラム】 ※講師はやむを得ぬ事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。

- 13:30 開会あいさつ 杉渕 武 (実行委員会委員長)
- 13:35 開催地市長あいさつ 阿部孝夫氏 (川崎市長) **※依頼予定**
- 13:45 地方自治研究機構会長あいさつ 石原信雄氏 (同機構会長、災害救援ボランティア推進委員会会長)
- 13:55 自治体学会代表あいさつ 進士五十八氏 (自治体学会代表運営委員)
- 14:05 基調講演 菅野典雄氏 (福島県飯舘村長)
- 15:05 休憩
- 15:15 ディスカッション 菅野典雄氏 (福島県飯舘村長)  
新藤宗幸氏 (東京市政調査会常務理事)  
進士五十八氏 (自治体学会代表運営委員)
- 16:30 閉会あいさつ 田中義政 (自治創造コンソーシアム理事長)

【申込方法・連絡先】

※ 下記のURL、または次ページの参加申込書によりお申込みください。

<http://kokucheese.com/event/index/13023/>

※参加証は発行しません。定員オーバー等で参加いただけない場合には、ご連絡します。

※「神奈川自治体学会」(仮称)設立総会は、原則として神奈川県内の自治体学会会員が中心です。ただし、県外あるいは非会員でもご参加いただけます。

参加申込書

ご <sup>ふりがな</sup> 氏名	
ご連絡先 (↓どちらかに○) 自宅 所属団体	〒 — 都道府県  電話 FAX  携帯電話  e-mail :
所属団体名 (職名)	
申し込み区分	一般 (2000円) 、 学生 (1000円)  取材 (マスコミ)
神奈川県自治体学会 (仮称) 設立総会への参加	参加 不参加  ※神奈川県内の自治体学会会員が中心ですが、県外・非会員も参加歓迎です。